

川内沢ダム通信 第14号

川内沢ダム本体工事の本契約が締結されました

川内沢ダム本体工事が令和4年10月19日に「西松・奥田・グリーン企画特定建設工事共同企業体」と契約締結されました。これから川内沢ダム本体工事が本格的に着工していきますが、引き続き地域の皆様とともに川内沢ダム建設事業の推進に取り組んでまいります。

名取市愛島公民館まつりに川内沢ダム建設事業を出展しました

10月30日（日）に開催された「愛島公民館まつり・ステージの部」において、川内沢ダムを紹介するため川内沢ダム建設事業の特設コーナーを出展し、リーフレットやダムペーパークラフトなどを配布しました。

ステージ発表8団体62人、来場者216人と大変盛況であり、限定150枚で配布した「川内沢ダムのペーパークラフト」と「ダムカード」は、特に子供たちに人気で、全て配布終了となりました。

地域の皆様からの声として、災害に強いまちづくりに貢献してほしい、地域と一体化したダムを目指してほしい、早く完成したダムを見たい、など多くのご意見や要望をいただきました。

古川工業高等学校の皆さんが樽水ダムと川内沢ダム建設事業の現場を見学に来ました

古川工業高等学校からのご依頼により、令和4年11月2日に土木情報科2学年（37名）の皆様にお越しいただき、宮城県として建設業若手技術者・技能者と現役高校生との交流を目的とした「樽水ダム及び川内沢ダム建設事業見学」に対応しました。

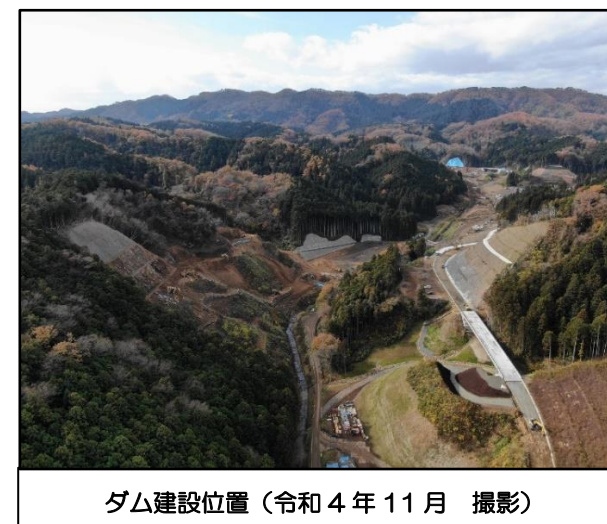
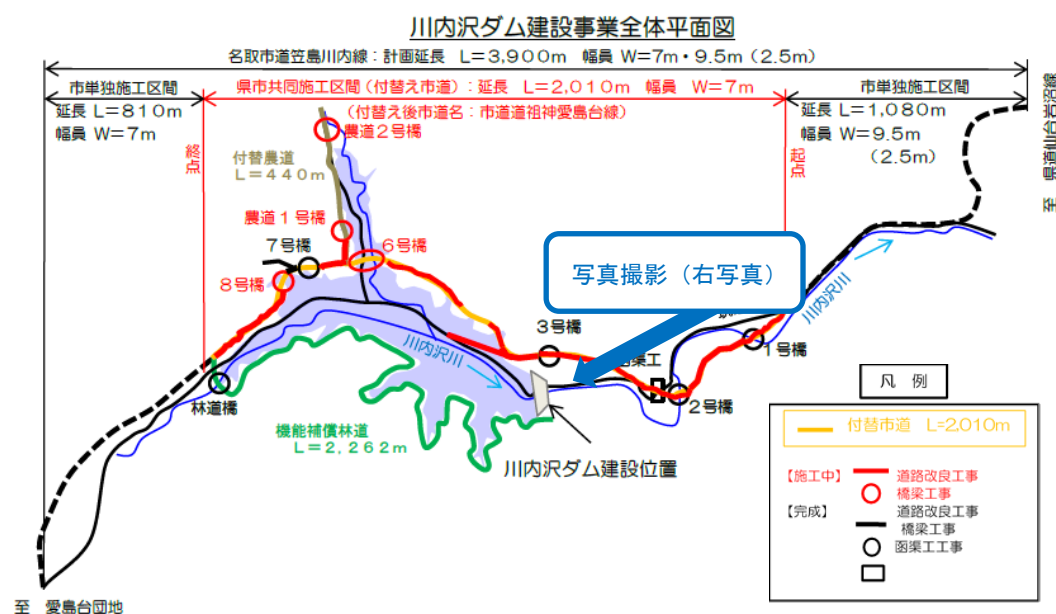
見学会は、樽水ダムの役割や災害復旧状況、川内沢ダム建設の概要について説明を行い、一同熱心に話を聞いていました。

今回の見学会を通して、ダムの役割や建設産業に興味をもっていただき、将来の建設産業を担う生徒さんへの職業意識の向上に役立てれば幸いです。

川内沢ダム建設現場で宮城県土木部職員による「第2回ダム建設事業研修」を開催しました

宮城県土木部では職員のダム建設事業に関する技術継承を目的とした「ダム建設事業研修」を開催しており、今回は令和4年8月10日に開催した第1回に引き続き、令和4年11月11日に「第2回ダム建設事業研修」を開催し、部内職員が22名参加しました。

参加者から「工事の進捗は予定どおりか」「14万m³のうち残土はどのくらい発生するのか」などの質問があり、真剣な眼差しで受講しておりました。



ダム本体工事も「西松・奥田・グリーン企画特定JV」と契約し、これからダム工事が本格化していきますね！



愛島公民館まつりの状況①



愛島公民館まつりの状況②



古川工業高等学校の現場見学状況



第2回ダム建設事業研修



1年半でとっても進みましたね！



●内容についてお気付きの点やご質問等は下記までご連絡ください。
宮城県仙台地方ダム総合事務所 建設班
TEL 022-372-2927 FAX 022-375-7535
E-mail sddamke@pref.miyagi.lg.jp